

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人運営費負担金 支出事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成23年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	地方独立行政法人法第85条、地方公営企業繰出基準等

【事業概要】

現状と課題	地方公営企業繰出基準に基づき病院の再編・ネットワーク化に係る有利な地方交付税措置を活用して運営費負担金を支出している。平成28年度から地方交付税措置に稼働病床数による上限値が設定されるため、国からの財源を考慮しつつ新病院に対する運営費負担金について検討が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	公的病院として救急医療や高度医療を安定的に提供できる。
対象 ※誰、何に対して	地方独立行政法人加古川市民病院機構
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地方公営企業繰出基準に基づき、施設整備や救急医療等に係る不採算経費について運営費負担金を支出する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	1,153,333 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,153,333 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	005 地方独立行政法人運営費負担金支出事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	1,153,333 千円	1,122,276 千円	1,683,364 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>旧東西市民病院や、平成28年7月に開院した加古川中央市民病院は、公的病院として救急医療や高度医療等を安定的に提供できる体制が必要であることから、法人の経営健全化を図るための不採算経費等に対する運営費負担金の支出は必要である。より効率的・効果的に運営できる地方独立行政法人のメリットを最大限に活かし、自立経営が図られることで運営費負担金支出額の圧縮は可能と考えられるが、新病院の移転に伴い経営が不安定な時期であることから、病院運営が安定するまでは運営費負担金の水準を維持していくことが必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人運営費負担金 支出事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
運営費負担金支出率	%	100	100	100
出資金額	千円	0		
活動指標分析結果	法人の経営健全化を図り、公的病院として安定した医療提供を行うため、法人に対し確実に支出した。なお、出資金については、法人の財務基盤が安定していることから平成26年度に引き続き27年度も支出しなかった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
市民病院開院日数（2次救急医療施設）	日	366	365	365	平成32年度	365
入院受入体制確保日数（高度医療）	日	366	365	365	平成32年度	365
成果指標分析結果	不採算経費に対する運営費負担金支出により、法人の経営健全化が図られ、公的病院として救急医療及び高度医療が安定的に提供された。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人評価委員会運営事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成22年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川市民病院機構評価委員会条例、地方独立行政法人法第11条

【事業概要】

現状と課題	平成28年度から第2期中期目標期間が始まったため、より客観的な評価ができるよう、第2期中期計画の評価基準の見直し等の必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地方独立行政法人法等で定められている地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会の所掌事務(業務実績評価など)について、委員会での審議を活性化させ、様々な視点から適正に決定を行う。
対象 ※誰、何に対して	地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地方独立行政法人法第11条に基づき市長の附属機関として設置された評価委員会の運営について、事務局として補助する。委員がより適正に客観的な決定(評価)が行えるよう、審議する議案について十分な説明を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	719千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	719千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	006 地方独立行政法人評価委員会運営事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	719千円	755千円	544千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>法定のため事業実施は必須であり、また、委員会開催の前に個々の委員へ事前に資料の説明を行うことは、委員会での審議を活発にするうえで有効と考えられる。さらに平成28年度は、例年の年度評価に加え、平成27年度までの5か年の中期目標期間中の業務実績評価を行う必要があり、また、第2期中期計画にあった評価の実施要領を検討するなど、例年の開催回数より多くなるが、十分に審議すべきと考える。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人評価委員会運営事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会委員	人	5	5	5

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
評価委員会委員への説明実施回数	回	24	33	15
活動指標分析結果	平成27年度は例年実施している年度評価（本評価）に加え、28年度から始まる第2期中期目標及び第2期中期計画について審議する必要があったため、評価委員会は6回と多めの開催数となった。ただ、日程調整の結果、事前説明の期間なく開催する回があったため、委員への事前説明実施回数は目標値を下回った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
年度評価に対する評価委員会意見数	件	72	115	114	平成32年度	60
年度評価に対する評価委員会開催回数	回	4	6	3	平成32年度	7
成果指標分析結果	平成27年度は第1期中期計画期間の最終年であり、平成27年度暫定評価を実施しなかったため、意見・回数ともに減っているが、内容的には平成26年度と変わらない深い議論となった。また、委員の意見を反映した第2期中期目標や第2期中期計画を策定することができた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	病院統合・再編事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成22年度 ～ 平成28年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	地方独立行政法人加古川市民病院機構活性化協議会及び活性化委員会設置要綱

【事業概要】

現状と課題	加古川中央市民病院については、平成28年7月に予定どおり開院することができた。また、新病院開院後の2病院跡地活用については、跡地活用計画に基づき事業を進めていくが、西市民病院跡地への医療機能の誘致は、兵庫県の基準病床数の見直し状況を踏まえ、進めていく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	●地方独立行政法人加古川市民病院機構の運営の活性化を図るとともに、加古川中央市民病院の整備を円滑に進める。●市民に対して医療機関の役割に応じた適正受診の必要性等について啓発を図る。●計画の実現可能性を確認し、市民にとって最も有用な病院跡地活用を図る。
対象 ※誰、何に対して	●地方独立行政法人加古川市民病院機構 ●加古川市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	●地方独立行政法人加古川市民病院機構活性化協議会及び活性化委員会の開催 ●地域医療関係機関との連絡調整 ●民間事業者との対話及び跡地活用計画案に対するパブリックコメントの実施

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	14,095 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	14,095 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	07 企画費
細目	045 病院統合・再編事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	14,095 千円	6,732 千円	757 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	加古川中央市民病院は予定どおり平成28年7月に開院し、新病院についての啓発及び、閉院した2病院の跡地活用を早急に進めていく必要がある。また、跡地活用については、平成28年3月に跡地活用計画が策定できたため、今後は計画に基づき、早期実現に向けて事業を推進していく。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	病院統合・再編事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構	団体	1	1	1
加古川市人口(4/1付推計人口)	人	266,100	267,148	268,001

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活性化協議会開催回数	回	1	0	1
活性化委員会開催回数	回	1	0	1
シンポジウム開催回数	回	0	0	1
活動指標分析結果	平成26年3月の新病院の着工後、建設整備は順調に進み、開院の目途が見えた平成27年12月に活性化協議会及び活性化委員会を開催した。また、啓発については、新病院の開院をお知らせするポスターを掲示した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
新統合病院建設整備率(各年度)	%	100	100	100	平成28年度	100
シンポジウム参加者数	人	0	0	130	平成年度	0
啓発資料配付枚数	枚	1,150	10,000		平成28年度	5,000
成果指標分析結果	加古川中央市民病院建設整備についてはスケジュールどおり進捗し、平成28年7月に開院することができた。新病院開院前には、町内会等を通じてポスターを掲示依頼し、東西市民病院の開院と中央市民病院の開院について、市内各所へ周知を図った。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	病院施設整備等資金貸付事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成23年度 ～ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	地方独立行政法人法第41条第5項

【事業概要】

現状と課題	地方独立行政法人は設立団体以外から長期借入ができないため、市が法人に対し加古川中央市民病院の建築工事及び医療機器の購入などに貸付を行っている。平成28年7月の新病院への移転に伴い多額の費用が発生するが、順調に進捗している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	安定的な資金調達により、医療機器の購入や加古川中央市民病院建設整備等が可能になる。
対象 ※誰、何に対して	地方独立行政法人加古川市民病院機構
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	法人が行う施設整備等資金について、市債を発行し、法人に貸し付ける。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	7,561,500 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	7,561,500 千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	15 病院事業債管理事業特別会計
款	01 病院事業資金
項	01 病院事業資金
目	01 病院事業資金貸付金
細目	005 病院施設整備等資金貸付事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	7,561,500 千円	2,300,800 千円	1,162,600 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>法人の唯一の資金調達手段として、安定的に借入れることができ、返済金を後年度に平準化できること、また、一部は地方交付税措置があることから、法人の経営健全化だけでなく、市財政における財源確保の面からも貸付は有効である。特に加古川中央市民病院については、建設整備に必要な資金を貸し付けることによりスケジュールどおり進捗し、平成28年7月に開院することができた。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	病院施設整備等資金貸付事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
貸付金支出率	%	100	100	100
活動指標分析結果	新病院施設等整備に係る一時的に増大する経費について、法人の借入要望額どおりに貸付を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
病院施設等整備率(各年度)	%	100	100	100	平成32年度	100
成果指標分析結果	病院施設等整備に必要な資金調達が行えたことにより、医療機器の購入や建築工事など、加古川中央市民病院建設整備がスケジュールどおり進捗した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	救急医療事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和39年度 ~ 永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	休日の一次救急及び二次救急については、継続して体制支援を行っており、電話相談事業については、利用率の伸び悩みがあり、停滞状況に陥っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	休日及び夜間帯に容態が悪くなった患者の初期対応を行うことで、重症化の防止及び生命の維持に繋げる。
対象 ※誰、何に対して	休日及び夜間帯に容態が悪くなり、救急処置の必要がある住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	休日の一次救急及び二次救急を実施するため、加古川医師会及び各医療機関等の協力のもと、輪番制等による体制を支援する。また、小児を対象とする夜間帯の電話相談を実施する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	26,322 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	162 千円
	一般財源	26,160 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	015 救急医療事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	26,322 千円	26,224 千円	25,466 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	救急医療事業は生命を守る重要な事業であり、現行の水準を維持しながら、事業を継続していくべきであると考えているが、一次救急の定点化や電話相談事業の利用率向上など、より事業が充実するよう、手段等を検討する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	救急医療事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	(公財) 東播臨海救急医療協会 補助事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ~ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成18年度から指定管理者制度を導入し、東播臨海救急医療協会を指定管理者とし、運営を委託している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する、2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における一次救急及び二次救急を円滑に行うため、加古川夜間急病センターの管理及び運営に要する職員人件費を補助する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	171,304 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	171,304 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間急病医療事業特別会計
款	01 夜間急病医療事業費
項	01 夜間急病医療事業費
目	01 夜間急病医療事業費
細目	015 (公財) 東播臨海救急医療協会補助事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	171,304 千円	169,028 千円	170,188 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、加古川夜間急病センターを管理、運営する上で必要となる職員人件費を補助することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	(公財) 東播臨海救急医療協会 補助事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
夜間急病医療事業特別 会計歳出	千円	279,689	284,417	282,997

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
東播臨海救急医療協会 補助費	千円	171,304	169,028	170,188
活動指標 分析結果	雇用形態の変更により減少しているが、総人数に増減がないため、 今後は増加していく見込である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
夜間急病センター利用 者数	人	11,211	11,400	11,805	平成32 年度	12,000
成果指標 分析結果	救急医療ということもあり、概ね同水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター管理運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成7年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川歯科保健センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	設立から20年が経過しており、施設や備品の老朽化による修繕が増加傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する、2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	休日及び障がい者診療を円滑に行うため、加古川歯科保健協会に対し、加古川歯科保健センターの管理及び運営に対する業務委託を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	87,181千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	87,181千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	13 歯科保健センター事業特別会計
款	01 歯科保健センター事業費
項	01 歯科保健センター事業費
目	01 歯科保健センター事業費
細目	010 歯科保健センター事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	87,181千円	76,068千円	74,290千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、加古川歯科保健センターを管理、運営することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター管理運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
歯科保健センター事業 特別会計歳出	千円	99,409	82,789	80,853

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
歯科保健センター管理 運営費	千円	87,181	76,068	74,290
活動指標 分析結果	人件費の自然増等により増加傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
歯科保健センター休日 診療利用者数	人	1,105	1,138	1,184	平成32 年度	1,100
歯科保健センター障が い者診療利用者数	人	2,960	2,882	2,874	平成32 年度	2,900
成果指標 分析結果	休日診療を行う診療所の増加に伴い、加古川歯科保健センターにおける休日診療の利用者数は減少傾向にある。また、障がい者診療の利用者数については、全身麻酔下による診療の開始に伴い、微増傾向にある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター事業特別会計 繰出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成7年度 ~ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	繰出金の負担額に変動はあるものの、継続して支援を行っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する、2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図るために設立した加古川歯科保健センターの健全な運営に資するための加古川市負担分を特別会計に繰り出す。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	27,739 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	27,739 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	27,739 千円	31,538 千円	30,907 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、その財政基盤である歯科保健センター事業特別会計に負担し、安定した運営を維持することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター事業特別会計 繰出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
歯科保健センター事業特別会計歳出	千円	99,409	82,789	80,853

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
歯科保健センター事業特別会計繰出金	千円	27,739	31,538	30,907
活動指標分析結果	人件費の自然増等による支出の増加により、繰出金は増加傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
歯科保健センター休日診療利用者数	人	1,105	1,138	1,184	平成32年度	1,100
歯科保健センター障がい者診療利用者数	人	2,960	2,882	2,874	平成32年度	2,900
成果指標分析結果	休日診療を行う診療所の増加に伴い、加古川歯科保健センターにおける休日診療の利用者数は減少傾向にある。また、障がい者診療の利用者数については、全身麻酔下による診療の開始に伴い、微増傾向にある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	東播臨海小児科救急病院負担事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成27年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	当番病院の交代等はあるものの、365日体制で運営を維持している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	休日及び夜間帯に容態が悪くなり、二次救急処置が必要となった小児に対し、迅速な対応を行うことで、重症化の防止や生命維持を支援する。
対象 ※誰、何に対して	市内に在住する小児
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	輪番制で当番となっている病院に対し、運営に要する費用を負担金として支出する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	25,525 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	11,113 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	14,412 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	035 東播臨海小児科救急病院負担金交付事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	25,525 千円	25,361 千円	25,307 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	容態の変化しやすい小児の二次救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、体制を維持するための支援を行うことは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	東播臨海小児科救急病院負担事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
14歳以下の市民 (10/1付住民基本 台帳人口)	人	37,293	37,868	38,666

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
東播臨海小児科救急病 院負担費	千円	25,525	25,361	25,307
活動指標 分析結果	平日と休日の単価が異なるため、年間日数の割合に応じて負担金 が変動する。また、明石地域の病院(明石市立市民病院及び明石医療 センター)の当番日数により変動する場合もあるが、ともに大幅な 増減要素は少ない。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
小児二次救急利用者数	人	5,283	5,228	5,200	平成32 年度	5,200
成果指標 分析結果	救急医療ということもあり、概ね同水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター管理運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川夜間急病センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	平成18年度から指定管理者制度を導入し、東播臨海救急医療協会を指定管理者とし、運営を委託している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する、2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における一次救急及び二次救急を円滑に行うため、東播臨海救急医療協会に対し、加古川夜間急病センターの管理及び運営に対する業務委託を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	108,270 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	108,270 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間急病医療事業特別会計
款	01 夜間急病医療事業費
項	01 夜間急病医療事業費
目	01 夜間急病医療事業費
細目	010 夜間急病医療事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	108,270 千円	115,260 千円	108,788 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、加古川夜間急病センターを管理、運営することは、行政が行う事業として妥当なものと考ええる。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター管理運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
夜間急病医療事業特別会計歳出	千円	279,747	284,417	282,997

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
夜間急病センター管理運営費	千円	108,270	115,260	108,788
活動指標分析結果	年度によって医薬材料費等の消耗が異なるため、年度間での変動が大きい。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
夜間急病センター利用者数	人	11,211	11,400	11,805	平成32年度	12,000
成果指標分析結果	救急医療ということもあり、概ね同水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病医療事業特別会計繰出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	繰出金の負担額に変動はあるものの、継続して支援を行っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	夜間帯における救急医療体制の充実を図るために設立した加古川夜間急病センターの健全な運営に資するための加古川市負担分を特別会計に繰り出す。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	75,994 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	75,994 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	75,994 千円	68,639 千円	77,048 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、その財政基盤である夜間急病医療事業特別会計に負担し、安定した運営を維持することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病医療事業特別会計繰出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
夜間急病医療事業特別会計歳出	千円	279,747	284,417	282,997

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
夜間急病医療事業特別会計繰出金	千円	75,994	68,639	77,048
活動指標分析結果	診療報酬による収入が増加しているため、繰出金は減少傾向にあったが、繰越金を財源とした決算が数年続いているため、平成27年度から増加に転じた。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
夜間急病センター利用者数	人	11,211	11,400	11,805	平成32年度	12,000
成果指標分析結果	救急医療ということもあり、概ね同水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター施設整備事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成7年度 ~ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川歯科保健センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	設立から20年が経過しており、施設や備品の老朽化による修繕が増加傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する、2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	休日及び障がい者診療を円滑に行うため、加古川歯科保健センターの施設、設備及び診療機器の整備を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	5,945 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	5,945 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	13 歯科保健センター事業特別会計
款	01 歯科保健センター事業費
項	01 歯科保健センター事業費
目	01 歯科保健センター事業費
細目	005 歯科保健センター施設整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	5,945 千円	438 千円	279 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、加古川歯科保健センターの設備や診療機器等の整備を行い、安心かつ安全な診療環境を整えることは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター施設整備事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
歯科保健センター事業 特別会計歳出	千円	99,409	82,789	80,853

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
歯科保健センター施設 整備費	千円	48	438	279
活動指標 分析結果	診療機器の更新については、整備計画に基づき順次行っているため、年度間での変動が大きい傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
歯科保健センター休日 診療利用者数	人	1,105	1,138	1,184	平成32 年度	1,100
歯科保健センター障が い者診療利用者数	人	2,960	2,882	2,874	平成32 年度	2,900
成果指標 分析結果	休日診療を行う診療所の増加に伴い、加古川歯科保健センターにおける休日診療の利用者数は減少傾向にある。また、障がい者診療の利用者数については、全身麻酔下による診療の開始に伴い、微増傾向にある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター施設整備事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ~ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川夜間急病センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	設立から40年近くが経過しており、施設や備品の老朽化が著しく、頻繁な修繕等が必要となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する、2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における一次救急及び二次救急を円滑に行うため、加古川夜間急病センターの施設、設備及び診療機器の整備を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	173千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	173千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間急病医療事業特別会計
款	01 夜間急病医療事業費
項	01 夜間急病医療事業費
目	01 夜間急病医療事業費
細目	005 夜間急病センター施設整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	173千円	130千円	4,022千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、加古川夜間急病センターの設備や診療機器等の整備を行い、安心かつ安全な診療環境を整えることは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター施設整備事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
夜間急病医療事業特別会計歳出	千円	279,689	284,417	282,997

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
夜間急病センター施設整備費	千円	173	130	4,022
活動指標分析結果	医療機器の入れ替え等により、年度間での変動が大きい傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
夜間急病センター利用者数	人	11,211	11,400	11,805	平成32年度	12,000
成果指標分析結果	救急医療ということもあり、概ね同水準で維持している。					